

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	筑波技術短期大学	整理番号	2-3-028
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	聴覚・視覚障害学生に対する教育方法の改善 —主として授業における情報保障の視点から—		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	大 沼 直 紀		
<p>(取組の概要)</p> <p>聴覚や視覚に障害のある学生が高等教育を受けるに際して直面する最も困難なことは、情報授受の障害である。</p> <p>筑波技術短期大学はこの問題を解決するために、学生自身の聞こえや見えの障害を軽減・改善する「障害補償」と、授業内容がよく“伝わる”、よく“分かる”ための「情報保障」の環境づくりを15年にわたり実践してきた。特に、授業の基礎となる教員・学生双方のコミュニケーション能力の向上、障害に適した教材等の活用、障害に配慮した支援機器等の整備、それらを有機的に機能させるための教育方法の開発等に、様々な工夫改善を重ねてきた。</p> <p>また、これら研究成果や蓄積された様々な経験・情報は、大学の紀要の発行、研究発表会の開催、本学以外の聴覚・視覚障害学生を受け入れた大学・短期大学等に対する相談・支援等を通じて、積極的に公開・提供し、社会的に還元している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、筑波技術短期大学の建学理念・教育目的である「聴覚・視覚障害者の社会的自立と障害者教育の改善」を実現するため、教育方法開発センターを中心として全学的に実施しているもので、個々の学生の障害の程度に適した教材を作成したり支援機器を開発したりすることはもとより、手話力・点字力の研鑽に教員全員が努め、学生のコミュニケーション能力を向上させかつ学習効果を高めようとする取組です。今日、軽度の聴覚・視覚障害をもつ学生が多く大学の大学に在学していることに鑑みると、筑波技術短期大学の取組は優れて特色あるもので、他大学の参考になる事例です。</p>			